

常陸太田市立郡戸小学校 学校長：古橋 康夫

【実施日時】	平成21年2月26日(木) 9:30 ~ 13:10
【参加者と人数】	小学校 第1~6学年 児童101名 教師12名
【コーディネーター】	根本 久美子
【講師】	オレリアン・バロン(フランス) ジェフリー・バーク(アメリカ) リー・ペイ・リン(マレーシア) 周 悦(中国)
【活動内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・各国の紹介(国旗・生活の様子や位置などについて説明) ・各国の遊び(講師のパフォーマンスやじゃんけんゲーム, 民族衣装試着体験) ・5, 6年ワークショップ「地球家族」 ・各国との講師との給食ランチタイム
【参加者の感想】	<p>・私は、ババヌキが一番面白かったです。ババヌキが一番にあがってうれしかったです、そしてゴムで作った縄跳びもとても面白かったです。マレーシアには縄を飛ぶときがなくはどうしてだろうと思いました。</p> <p>・中国のお金には、いろいろくふうがあって、お金のはじめは模様がつながっていたり、目の不自由な人が何元かわかるようにはじめに触るとボコボコがついていることが、初めて知りました。ペキンからなりたまで2時間30分ぐらいで近いなと思いました。</p> <p>・フランスパンは「つえ」で、クロワッサンは「大きい」という意味が分かりました。</p> <p>・地球家族では自分にとって「ゆたか」「幸せ」「家族」「笑顔」とはどういうことかあらためて考えることができました。またたくさんの外国の事が分かり楽しかったです。</p>
【担当者の感想】	<p>これまで児童がふれあうことのなかった外国の方々と交流をすることができ、児童の世界に対する興味関心が非常に高まった。高学年の社会科を中心とする学習と関連付けて、派遣していただく方の国を選定したが、希望通りの国の方々に来ていただくことができた。活動はあっという間の30分間であった。もう少し、各国の言語や文字、子供の遊びなど身近な話題にふれる時間がもてたら、なおよかった。</p> <p>高学年の「地球家族」は非常によかった。国際交流を進めていく根底には、誰もがしっかりした国際理解と幸福感を持つことが大切であることを考えることができた。全児童一人一人に講師の方々からメッセージカードをいただき、児童は大喜びであった。</p>

